



## 第 10 回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告書(発行日 2022 年 2 月 18 日)

DBJ は、DBJ サステナビリティボンドフレームワーク(以下、「フレームワーク」)に基づき、2022 年 2 月 18 日付で第 10 回 DBJ サステナビリティボンドを発行しました。

### ■フレームワーク及びフレームワークに対するセカンドパーティーオピニオン

- フレームワーク及びフレームワークに対するセカンドパーティーオピニオンについての詳細は下記リンクをご確認ください。

DBJ サステナビリティボンドフレームワーク

<https://www.dbj.jp/pdf/ir/credit/sri/framework.pdf>

セカンドパーティーオピニオン(認証機関:ISS ESG)

<https://www.dbj.jp/pdf/ir/credit/sri/latest-opinion.pdf>

- DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金は、以下のカテゴリーから構成される適格ファイナンス(フレームワークの 4.1(調達資金の使途)にて定義)のいずれかに充当されることとしております。

### 【DBJ サステナビリティボンドの発行代わり金に充当可能なプロジェクトカテゴリー】

適格カテゴリー	プロジェクトカテゴリー
気候変動への対応 / 気候変動の緩和 (グリーン適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"><li>➤グリーンビルディング</li><li>➤再生可能エネルギー</li><li>➤クリーンな輸送</li><li>➤エネルギー効率- DBJ 環境格付融資</li></ul>
災害対応 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"><li>➤雇用創出及び社会経済的危機に起因する失業の防止又は軽減のためのプログラム</li><li>➤手ごろな価格のベーシックインフラ- 送電網の改修 (エネルギー効率 - エネルギー効率の高い送配電網)</li><li>➤社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資</li></ul>
ヘルスケア・社会福祉 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"><li>➤手ごろな価格の住宅</li><li>➤必要不可欠なサービスへのアクセス - ヘルスケア</li><li>➤社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資</li></ul>

## ■第10回DBJサステナビリティボンド資金使途報告（概観）

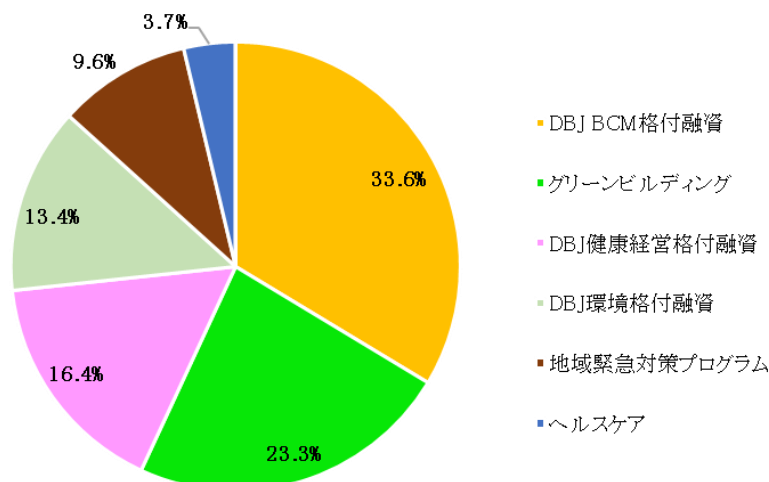
- 第10回DBJサステナビリティボンドの発行代わり金は、下記6つのプロジェクトカテゴリーに充当を完了しております(2022年9月2日時点)。プロジェクトカテゴリー毎のアロケーション比率については下記パイチャートをご確認ください。
- 第10回DBJサステナビリティボンドの発行代わり金は、発行日時点(2022年2月18日時点)で既に実行済みの投融資に充てており、リファイナンス比率は100%となっております。
- 未充当金は、現金又は現金同等物で管理することとしておりますが、第10回DBJサステナビリティボンドの発行代わり金の未充当額は存在していません。

※調達資金の管理についてはフレームワークの4.3(調達資金の管理)をご確認ください

### 【第10回DBJサステナビリティボンドの発行代わり金を充当したプロジェクトカテゴリー】

適格カテゴリー	プロジェクトカテゴリー
気候変動への対応 / 気候変動の緩和 (グリーン適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤グリーンビルディング</li> <li>➤エネルギー効率-DBJ環境格付融資</li> </ul>
災害対応 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤雇用創出及び社会経済的危機に起因する失業の防止又は軽減のためのプログラム - 地域緊急対策プログラム</li> <li>➤社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資</li> </ul>
ヘルスケア・社会福祉 (ソーシャル適格カテゴリー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤必要不可欠なサービスへのアクセス - ヘルスケア</li> <li>➤社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資</li> </ul>

プロジェクトカテゴリー毎の  
発行代わり金アロケーション比率



## ■第10回 DBJ サステナビリティボンド資金使途報告（詳細）

- 第10回 DBJ サステナビリティボンドに充当したプロジェクトカテゴリーについての詳細は下記の通りです。

### ① 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ BCM 格付融資

- DBJ BCM 格付融資は、企業の防災対策、事業継続対策、危機管理経営等を評点化し、優れた企業を選定する「BCM 格付」の手法を用いた世界で初めての融資メニューです。

- セクター毎の案件数

製造業	8 件
電気・ガス・熱供給・水道業	2 件
情報通信業	2 件
運輸業、郵便業	1 件
卸売業	2 件
物品賃貸業	1 件
合計	16 件

認証取得年月	2019/2~2020/7
--------	---------------

### ② グリーンビルディング

②-(1) DBJ Green Building 認証制度 において 3 つ星、4 つ星又は 5 つ星評価を取得した建物に対する新規投資及びリファイナンスへの投融資資金

- DBJ Green Building 認証とは、環境・社会配慮の観点から物件を認証する、DBJ が提供する物件認証制度です。DBJ Green Building 認証では、環境、快適性、防犯・防災、地域・景観、ステークホルダーとの連携等の観点から物件を評価します (DBJ Green Building 認証についての詳細は、リンク(<http://igb.jp/>)をご覧ください)。

案件数	2 件
認証取得年度	2019~2020 年度

②-(2) CASBEE 又は BELS の上位 3 段階の評価を取得した建物に対する新規投資及びリファイナンスへの投融資資金

- CASBEE 及び BELS についての詳細は下記リンクをご確認ください。

CASBEE

[https://www.ibec.or.jp/CASBEE/CASBEE\\_outline/about\\_cas.html](https://www.ibec.or.jp/CASBEE/CASBEE_outline/about_cas.html)

BELS

<https://www.hyoukakyoukai.or.jp/bels/info.html>

案件数	CASBEE S ランク:1 件(物流) CASBEE A ランク:1 件(物流) BELS 5 つ星:2 件(物流)
認証取得年度	2019~2022 年度

③ 社会経済的向上とエンパワーメント - DBJ 健康経営格付融資

- DBJ 健康経営格付融資は、従業員の健康配慮への取り組みに優れた企業を評価・選定する「健康経営格付」の手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

- セクター毎の案件数

製造業	7 件
電気・ガス・熱供給・水道業	2 件
小売業	2 件
不動産業	2 件
合計	13 件

認証取得年月	2019/2~2021/1
--------	---------------

④ エネルギー効率- DBJ 環境格付融資

- DBJ 環境格付融資は、企業の環境経営度を評点化し、優れた企業を選定する「環境格付」の手法を用いた世界で初めての融資メニューです。

➤ セクター毎の案件数

製造業	3 件
小売業	2 件
物品賃貸業	2 件
合計	7 件

認証取得年月	2020/5~2022/1
--------	---------------

➤ 対象企業例①

取引先	昭和電線ホールディングス(株)
本社	神奈川県川崎市
業種	製造業
認証取得時期	2022 年
環境格付	A ランク
融資通貨	円
URL	<a href="https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2021/html/20220201_20368_6.html">https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2021/html/20220201_20368_6.html</a>

【評価ポイント】

- (1) 製造段階におけるさらなるエネルギー使用量低減に向け全社横断的なプロジェクトチームとして「Green Energy Project」を設立したほか、中期目標を設定しながら、ライフサイクルを通じた環境配慮に資する製品の新規登録件数拡大に努めるなど、事業活動を通じた環境負荷低減に向け不断の取り組みを展開している点
- (2) 今年度より新たに調達先に対する CSR アンケートを開始し、調査結果に応じて改善指導を実施するなど、環境・CSR に配慮したサプライチェーンマネジメントを実践している点
- (3) 「SWCC VISION 2030」の実現に向けて社会課題解決型ビジネスの積極化を掲げ、再生可能エネルギーの利用促進や労働人口不足解決に寄与する高電圧電力ケーブル接続工事システム「SICOPLUS®(サイコプラス)」等の展開により、企業価値及び社会価値双方の拡大を図っている点



太陽光発電設備が稼働する昭和電線ケーブルシステム(株)\*の愛知工場  
サイコプラスに関連した人材教育  
\*昭和電線ホールディングス(株)の子会社

➤ 対象企業例②

取引先	セイコーエプソン(株)
本社	長野県諏訪市
業種	製造業
認証取得時期	2022年
環境格付	Aランク
融資通貨	円
URL	<a href="https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2021/html/20220131_203677.html">https://www.dbj.jp/topics/dbj_news/2021/html/20220131_203677.html</a>

【評価ポイント】

- (1) 環境ビジョン 2050 で掲げる「カーボンマイナス」の実現に向け、製造業で初めて(※)国内拠点における使用電力の100%再生可能エネルギー化を達成したほか、ライフサイクルシンキングに基づく環境配慮型設計を導入し、環境性能に優れた商品・サービスの開発を推進している点
- (2) 全てのサプライヤーに対して環境や人権などの観点を含んだ「CSR セルフアセスメント調査」を定期的実施するだけでなく、CSR リスクの高い取引先への改善支援や二次サプライヤーへの調査の展開を進めるなど、持続可能なサプライチェーンの構築に注力している点

(3) 「持続可能でこころ豊かな社会を実現する」という将来のありたい姿を掲げ、本業を通じて解決すべき社会課題や自社のイノベーション領域を特定するとともに、資源循環技術の開発をはじめとする脱炭素化や環境技術開発に果敢に取り組んでいる点

(※) 日本の RE100 加盟企業の内。2021 年 10 月 27 日時点(エプソン調べ)



●ホームプリンター (EP-M553T)

本体のプラスチック約 30%\*に再生材を使用し、石油由来プラスチックの使用量を削減  
大容量インクタンク方式により、消耗品に関わる資源消費量を削減

\*:使用するプラスチック全体の質量に対する比率。再生材の配合率を考慮して質量を算出

●広丘事業所(イノベーションセンター)

国内拠点の使用電力を 100%再生可能エネルギー化

**⑤ 雇用創出及び社会経済的危機に起因する失業の防止又は軽減のためのプログラム - 地域緊急対策プログラム**

➤ セクター毎の案件数

製造業	2 件
運輸業、郵便業	2 件
小売業	1 件
宿泊業	1 件
合計	6 件

融資額	9,250 百万円
-----	-----------

⑥ 必要不可欠なサービスへのアクセス・ヘルスケア

案件数	11 件
サブセクター分布	病院・診療所 10 件 老人ホーム 1 件
融資対象病院・診療所の病床数合計	4,913 床
融資対象老人ホームの受入枠数	96 人

(2022 年 9 月 2 日現在)